

組子ベッド百報

2011.5-6月号 (No. 10)

著作権は、(株)総桐筆筒和光が所有します
代表取締役 加島清治
〒830-0424 福岡県三潴郡大木町三八松 1048
TEL/0944-33-1421 FAX/0120-279-050
<http://kumikobed.com/>

このニュースターは「組子ベッド・販売様向け」に編集したものです。組子ベッド、桐たんす、新製品、販売ハウツー、展示会案内、販売店様相互の話題、その等、売上増進繋がる生きた情報を提供していきます。年6回(奇数月)に発行。保管をお願い致します。



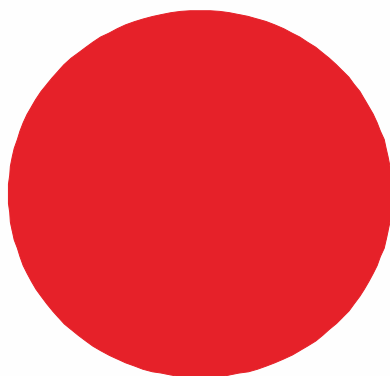
3月11日午後2時46分ごろ、M9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生し大津波が起こった。このM9.0は、国内記録最大級。阪神淡路大震災の1000倍の威力とも言われていて、日本人の誰もが経験しなかった未曾有をはるかに超える大地震。津波の速さ、高さ、破壊力は映像でももの凄いが分かるが、さらに福島原発事故も加わり深刻さをましました。幸いにも、販売店様の中に直接の被害はなかったようですが、ご親戚、ご友人等被災にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。

ところで、自粛ムード、閉塞感が漂ってますが、被災に遭われてない販売店様には、過度の自粛することなくご商売を続けることが一番の復興に繋がると思います。消費税8%、いや10%という復興資金捻出の増税議論も始まって、景気が悪かった上に、さらに追い打ちされる気もします。しかし、被災に遭われた方のことを思えば、いたしかたないところあるとは思いますが、慎重に議論がされ納得いく形になればと思っています。

宇宙飛行士の方が「がんばれニッポン」と宇宙からのメッセージとして伝えてましたが、この地にいる私らには「がんばれニッポン」は他人事。「がんばろうニッポン」で自ら行動することが必要。

震災の翌日、社員からは義援金を送りたいと申し出があり、3/14には社員積立金を取り崩し、また役員から、会社としても義援金を送りました。こういうことは創業50年にして初めてのことでした。

がんばろうニッポン



Persistent Nippon

■組子ベッド、中小企業庁長官賞

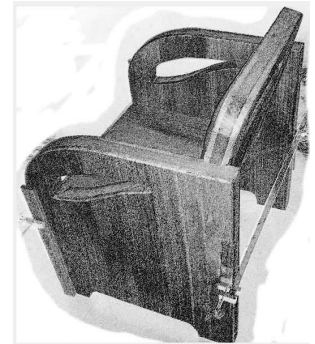


4月初旬、大川市で開催されたジャパンインテリア総合展2011内のコンペにて、組子ベッド・あんばいが、当社では一番格の高い”中小企業庁長官賞”をいただきました。入賞するとは思っていませんでしたので、とても名誉な賞をいただき、たいへん嬉しく社員共々で喜びました。

■桐の椅子

組子ベッドにお似合いな、桐の椅子を試作中です。

初めての挑戦です。丈夫であることはもちろんですが、桐の暖かさ、肌触りがとてもいいです。製品化には、まだ、時間はかかりますが、デザイン、構造、使いやすさを追求してみたいと思います。



■和モダン

東京都東久留米市のたきのらとん店様、組子ベッドにお似合いなモダンな柄で、お布団を作られました。

■コンクリりました

組子ベッドの焼き工程の作業場ですが、床をコンパネで作っていたお古の展示台を使ってました。でも1年でブカブカに。凸凹がひどくなって、いつ落とし穴になってもいいような状態に。今後の組子ベッド、さらに増えそうなので、床をしっかりとコンクリりました。



■組子ベッド焼き風景



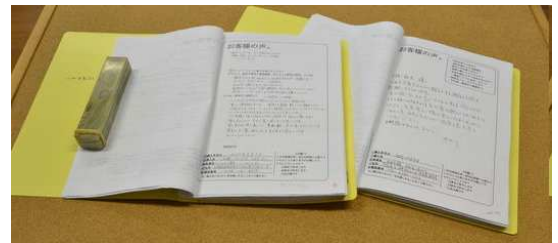
組子ベッドは総桐です。バーナーで直接焼いて加工します。木目を引き立たせ、着色なしでいい風合いを出せます。このバーナー焼くという加工はたいへん難しい職人技です。

この焼桐にする作業は常務(息子)が担当してますが、自称"焼師"と名乗ってます。"焼師"を、名乗るための条件は、下記だそうです。

- ・焼桐加工、実務経験3年以上
- ・場に適応した火の差し方の理解
- ・製品に応じた、焼加工方法を習得した者
- ・火の特性を理解し、状況により炎を使い分けが出来る者
- ・焼場の環境の整備が出来る
- ・桐の特性を理解し、焼桐加工の知識を得た者
- ・焼桐に適応した全般的技術を習得した者
- ・焼桐加工の指導が出来る者

■私らの支えは「お客様の声」です

当社の製品のすべてに、「お客様の声」を返信していただくよう封筒を入れてます。アンケート形式でなく、ご感想を自由に書いていただくようになっていますが、お客様の肉筆で一文字一文字丁寧に書いてあることにさえ感動を覚えます。



返信されてきたものは、まず私が目を通し、お礼状を書きます。そのあと社員全員に回覧します。ご満足されている感想がほとんどですが、中には、こんなにいいものはもっとPRして下さいと叱咤激励されたり、また、いろいろの提案が書いてあったりします。

この「お客様の声」は、販売店でお買い求めされた場合は、販売店様にもコピーを、メールやFAXで送り、共に喜びを共感する手段にもなってます。私らの支えは「お客様の声」です。「お客様の声」が、たくさんいただけるように社員一丸となって、いい製品作りを心がけてます。

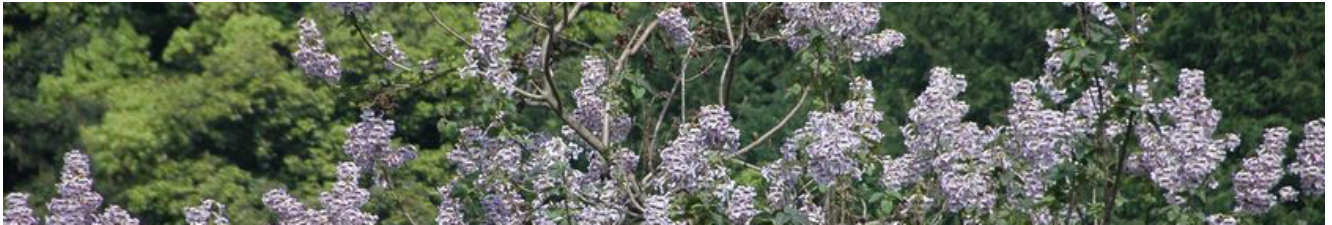
組子ベッド販売店支援サイト

組子ベッド販売店支援サイトに動画を掲載していきます
この「組子ベッド百報」の過去の配布資料だけでなく、各地のTV局であった販売店様が出演の番組紹介、また、快眠や睡眠に関するTV番組など随時紹介していきます。下記は、最近掲載したものです。

- ・2011.4/16 「知っとこ」での快眠ベスト10
- ・2009 企業秘密まで見せたと話題になった龍宮
- ・2009 睡眠考房まついさん(大阪)
- ・2008 布団のヨネタさん(北海道)

<http://kumikobed.com/members/>
ID:kumiko
pass:bed





こちら5月の連休の頃、山間に「桐の花」を見かけられます。桐の花は逆さ藤とも言われ、紫色で香りもとてもいいです。当社に植えている桐、5年ぶりに花が咲き初めました。

■XP→win7(x64)



10年ぶりに、私のメインPC(会社のメイン)を、XPから、win7(x64)に乗り換えました。XPが、時々ブルー画面でx000000D1とかx000000FEとかでるようになったのです。10年の間にはマザーボードが壊れそれを交換。win2000をXPにアップグレード。CPUも途中交換と、改築と増築の繰り返し(^);、でも、今度はHDDとメモリーにトラブルの様様。このままこしておくと突然起動しなくなることも考えられるという状態に。



いままで買い換えしなかったのは、ソフトのインストールや使用環境を整えるということが必要で正直面倒くさい。でも、3月初旬、我が田舎町にもインターネットの高速回線が入りXPでは160M契約でも30Mが限界。この際、買い換え時期かと重い腰をあげ、思い切ってwin7(x64)に乗り換えました。

PCを何台も組立てたことがある工場長にパーツを買ってきて組立ててもらいました。でも、ソフトのインストールは私。結局、元のXPのような環境にするまで、暇々ではありましたが2週間ほどかかってしまいました(^);

水前寺清子さんの"365歩のマーチ"。うちでは、毎年4月に朝礼前にかける音楽です。いまこの曲が復興ソングとして話題になってます。

ー1番ー

ワン・ツー ワン・ツー ワン・ツー ワン・ツー

幸せは歩いてこない

だから歩いてゆくだね
一日一歩三日で三歩
三歩進んで二歩さがる
人生はワン・ツー・パンチ
汗かきベそかき歩こうよ
あなたのつけた足跡にや
きれいな花が咲くでしょう



腕を振って 足を上げて ワン・ツー ワン・ツー
休まないで歩け ソレ ワン・ツー ワン・ツー ワン・ツー ワン・ツー



がんばろうニッポン

(株)総桐筆筈和光

DNA

我が社の遺伝情報であり、会社史であり、備忘録あり、
自分史あり、ドキュメンタリーでもあります



■人の本性というものは・・・



私が、高校生の時、自社工場でアルバイトしていた時に、震度4程度だったと思いますが、電柱がかなり揺れる地震がありました。私は外で板積みをしてましたので、刈り取られていた田んぼの方に避難しました。30人ほどいた、工場内からも社員が田んぼに飛び出してきました。

そんな社員の中に、入社は後発ですが、社員思いで、しかも愛社精神のかたまりのような方がいて、他の社員から一目置かれる人望が厚い人がいました。でも、地震となって慌てられたのか、1カ所に集められていた弁当の棚から、なぜか自分の弁当だけを持って、急いで田んぼに飛び出されたのです。

これには、他の社員はいっぺんに興ざめ。会社の中には弁当以外にも大切なものもあるのに弁当?。しかも、他の人の弁当も一諸に入っている棚から、自分の弁当だけ持ってこられたのには、皆さん責めはしなかったものの、社員思い?愛社精神?はどういったやらと陰口。ついには、自主退社されて行きました。人の本性というものは、危機的になればなるほど現れるものだとなりました。

■18リッターの空き缶を蒸し器替わりに



30~40年ほど前は、こんなアルミの弁当箱がほとんどでしたよね。



当時、塗料の空き缶として18リッターのシンナー缶がたくさんでいたので、それを蒸し器替わりにしてました。缶の上を四角にくり抜き、そこに火の付いたかんなくずを投げ入れてシンナーを一瞬で飛ばすんです。



冬になると女子社員が昼前に、温めて欲しい人の弁当を集め、空き缶の底に水を張り、その上に、スノコを敷き、そしてアルミの弁当箱を重ね、蓋をしてストーブに乗せる。思い出深いのは、給食センターが持ってくる弁当箱。ステンレス製で丈夫でしたが、長年の繰り返しの使用で細かい凹みがついていたことが懐かしい。温められた弁当のほっかほっかは、ほっとするひとときでもありました。

facebook



2月の初め頃Facebookの中に、よくわからぬままに組子ベッドの紹介ページを作りました。現在「いいね」を付けてくれた人が、なんと400人を超えました。Facebookの「いいね」は、管理者の私には、誰が「いいね」をしてくれたかが分かるだけでなく、その人達(ファン)全員に、私の方から一斉にメッセージすることもできることが分かり、たいへんいいマーケティングツールと思っています。この紹介ページは、Googleの検索からでもヒットし、Facebook会員でなくともみることも可能です。一度覗いてみて下さい。<http://www.facebook.com/kumikobed>